

② ICT教育により授業が分かりやすいと聞くが、全国学力テストの結果との相関関係があるのか。

① 全国学力調査の結果は、平成20年代前半において、小学校は全国平均に比べてかなり低く、中学校は平均を上回っていた。ICT導入を進めるにしたがって、小学校は右肩上がりになり、全国レベルの状態にアップしたと手ごたえを感じている。中学校についてもより高いレベルで推移している状況である。また、「学校の授業以外に1日どのぐらい勉強をしているか」との質問に対して、1時間以上行っていると答えた児童生徒の割合が全国平均より約10ポイント高かったことも、このような工夫した授業が家庭学習への意欲につながっていると捉えている。

## 審査 ピックアップ 議案 第54号

### 菊川市一般会計補正予算（第2号）

令和元年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

審査において  
こんな質問がされました

③ 当初8台購入予定であったコミュニティバスが、1台になった経緯と今後の対応は。

④ 県の補助金が減額となった経緯として、車両更新の補助対象要件は、原則車齢が10年以上の車両の更新である。車齢が10年に満たない場合は、走行距離数が10万キロ以上、車両の基幹部品に故障履歴があり、今後乗客の安全運行及び定時運行に支障が生じる恐れがあることが要件である。今回、採択された1台は車齢が10年以上であった。他7台は車齢が約8年で、走行

距離は10万キロを超えていたが、県の内規による基幹部品の故障ではないとの判断により補助対象外となった。

補助対象外となった7台は、来年度の当初予算に計上し、合併特例債の活用も視野に入れ、検討していきたい。



運行中のコミュニティバス

⑤ 外国人児童指導費が147万円の減額となっているがその理由と、今後の予算計上は。

⑥ 国の補助制度が事業費の3分の1であるが、ここ数年補助金全体が縮小傾向にあり補助率が縮小されてきたため、今年度については350万円程度補助が受けられると予想していた。ところが、入管法改正等の影響だと思われるが、本来の補助額が今年度になり実現したため、今回のマイナス補正となった。また、年度当初において若干の待機児童が出たり、今回補助率が上がったことにより今後の補助金増額の継続も予想されるため、来年度の当初予算計上に向けて事業費の拡大が必要か検討している段階である。

